

飛鳥里山クラブ 野外活動サークル7月度 【飛鳥の道標巡り】

2022年7月8日(金)

Photo by H.Kiyohara

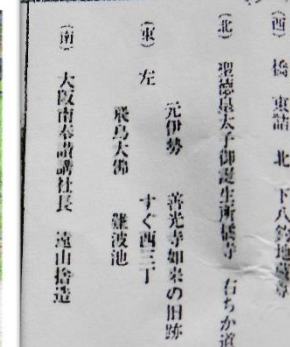
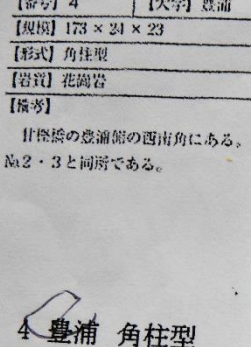
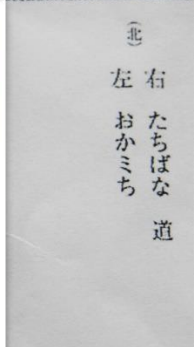
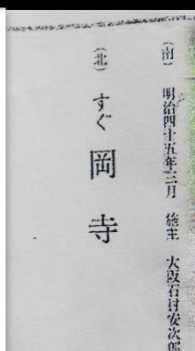
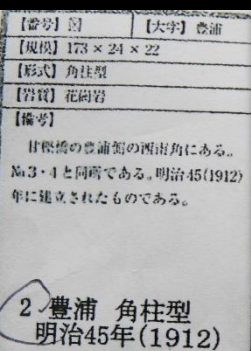
- コース： 豊浦休憩所 ⇒ 飛鳥資料館 ⇒ 飛鳥座神社 ⇒ 飛鳥寺 ⇒ 万葉文化館(昼食)
⇒ 板蓋宮伝承地 ⇒ 橘寺 ⇒ 川原寺 ⇒ 弥勒石 ⇒ 豊浦休憩所
- 参考文献： 明日香村教育委員会文化財課編集・発行 「飛鳥の考古学図録⑩飛鳥の道標 明日香村」



豊浦休憩所に集合・出席確認



道標巡りスタート



豊浦の三つの道標



奥山の道標に向かう



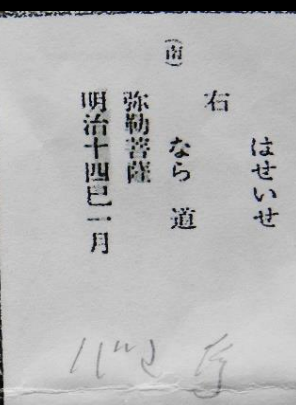
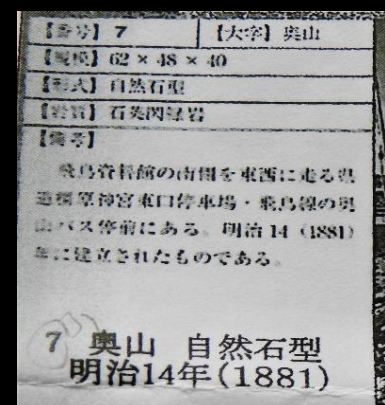
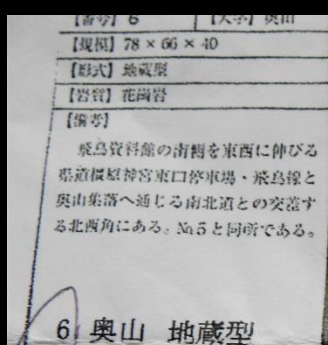
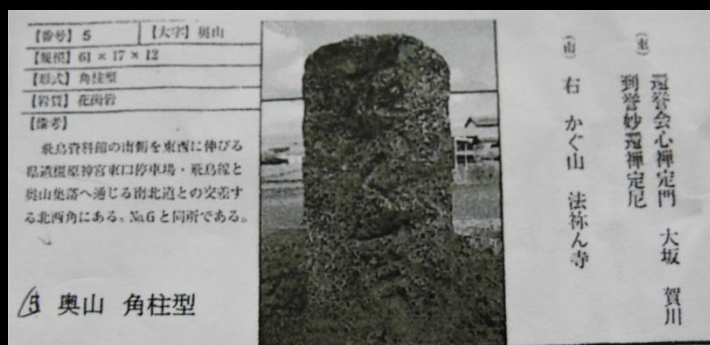
田園にタニシの卵群



近辺の案内表示



大和三山（左から畝傍山・天香久山・耳成山）



奥山三つの道標



飛鳥座神社方面へ向かう



ブルーベリー

【番号】8 【大字】飛鳥
 【規模】115 × 30 × 45
 【形式】地蔵型
 【材質】石英閃緑岩
 【備考】
 飛鳥集落の北端を東西に伸びる道（昔田道）とそこから路跡へ通じる南に道との交差する北東角にある。



（北西）
 （南西）
 （南東）
 願主 弥七
 右 さい志よ 道
 梵字 地蔵 宗念柳定門
 左 はせ いせ 三界万霊
 道
 おか寺かうや
 よしの 道



飛鳥地蔵型の道標



飛鳥座神社へ



個人では見つけれません！

【番号】9 【大字】飛鳥
 【規模】80 × 25 × 20
 【形式】角柱型
 【材質】花崗岩
 【備考】
 飛鳥座神社の鳥居北側にあり、現在地より約250m西にあったものが移設されている。安政6（1859）年に建立されたものである。



（北）
 （南）
 （西）
 （東）
 安政六己未八月七日俗名亀
 右 八木 たへま
 左 つばさか
 すぐ飛鳥大神宮
 はせ

【番号】10 【大字】飛鳥
 【規模】125 × 24 × 24
 【形式】角柱型
 【材質】花崗岩
 【備考】
 飛鳥座神社へと向かう東西道と飛鳥寺の東門を通る南北道が交差する丁字路の北側にあり、明治45（1912）年に建立されたものである。



（北）
 （南）
 （西）
 （東）
 明治四十五年二月 施主 大坂石村愛
 右 スグ 元伊勢
 右 岡寺

飛鳥角柱型



飛鳥角柱型（岡寺表示）



飛鳥寺

【番号】11 【大字】飛鳥
 【規模】116 × 37 × 20
 【形式】角柱型
 【材質】花崗岩
 【備考】
 飛鳥寺の東門前にある。以前は東へ約50mの所に立てられていた。寛政4（1792）年に建立されたもので、明日香村内で一番古い道標である。



（北）
 （南）
 （西）
 （東）
 飛鳥大佛
 寛政四年壬子年三月八日
 施主 大坂御家筋
 井村庄七

【番号】12 【大字】飛鳥
 【規模】42 × 27 × 10
 【形式】板碑型
 【材質】石英閃緑岩
 【備考】
 飛鳥寺本堂南側にあり、



（南）
 （北）
 （西）
 （東）
 右 をか寺
 施主 辰



飛鳥寺境内の道標

キキョウ

【番号】13 【大字】飛鳥
 【規模】122 × 27 × 10
 【形式】角柱型
 【材質】花崗岩
 【備考】
 飛鳥寺の鐘樓北側にある。
 13 飛鳥 角柱型
 天保14年(1843)



（西） 法然寺廿四世進修代
 元祖大願廿五愛場 第十番
 右 かぐ山法修ん寺 道
 これより八丁
 天保十四年十二月建之

【番号】14 【大字】飛鳥
 【規模】120 × 50 × 41
 【形式】地蔵型
 【材質】花崗岩
 【備考】
 飛鳥寺の鐘樓北側にある。
 14 飛鳥 地蔵型



（東）
 右 圓光大師十番札所 法然寺
 等覚成念信士 神尊妙敬信女
 左 たゑま 大坂道
 香久山

【番号】15 【大字】飛鳥
 【規模】42 × 27 × 10
 【形式】地蔵型
 【材質】石英閃緑岩
 【備考】
 飛鳥寺の鐘樓北側の祠内にある。
 15 飛鳥 地蔵型



北
 右 おかてら
 左 だいがつ
 地蔵

【番号】16 【大字】飛鳥
 【規模】98 × 45 × 19
 【形式】地蔵型
 【材質】石英閃緑岩
 【備考】
 飛鳥寺の鐘樓北側の祠内にある。
 16 飛鳥 地蔵型



（東）
 右 はせいせ みち
 左 成院大阪 道
 地蔵

飛鳥寺境内の道標



万葉文化館へ向かう



昼食・休憩



午後からのスタート



* 番外の道標



【番号】22 【大字】岡
 【規模】145 × 27 × 28
 【形式】角柱型
 【材質】花崗岩
 【備考】
 明日香民俗資料館の入口東側にある。古くは見洲から岡寺へ通じる東西道と飛鳥寺へ伸びる南北道が交差しているところに建てられていた。天保14（1843）年に建てられたものである。
 22 岡 角柱型
 天保14年(1843)



（東） 設事
 天保十四年閏五月建立 飛鳥寺
 法然寺進修代
 すぐおか寺門上左はせいせ
 左元祖門光太願 信者同々
 右はせいせ門上左はせいせ
 左元祖門光太願 信者同々
 廿五愛場第十番
 十四丁
 右はせいせ門上左はせいせ
 すぐおか寺門上左はせいせ
 左元祖門光太願 信者同々
 右はせいせ門上左はせいせ
 すぐおか寺門上左はせいせ
 左元祖門光太願 信者同々



岡の道標（万葉文化館）

橘の道標方面に向かいます



橋の道標方面に向かう

【番号】31 【大字】橋 【規模】95 × 36 × 32 【形式】角柱型 【材質】花崗岩 【備考】 橋き東門前の東橋集落に通じる南北道と川原から同集落を結ぶ旧道の交差する南西角にある。No.32と同所である。 31 橋 角柱型		(西) 右 おか寺 道	【番号】32 【大字】橋 【規模】75 × 35 × 30 【形式】地藏型 【材質】花崗岩 【備考】 東橋集落に通じる南北道と川原から同集落を結ぶ旧道の交差する南西角にある。No.33と同所である。 32 橋 地藏型		(北) すぐ おかでら 道 (東) 右 たは奈寺 (西) 左 つばさ寺 地主
--	--	---------------------------	--	--	---

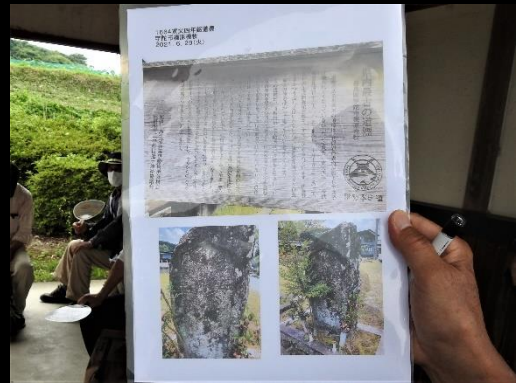
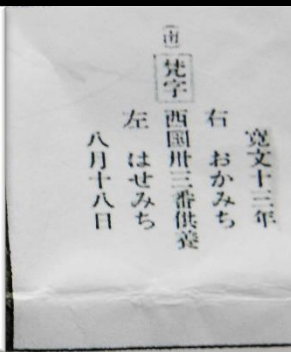
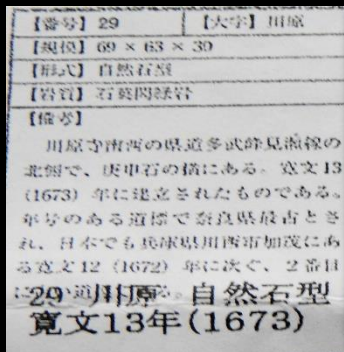
【番号】33 【大字】橋 【規模】216 × 43 × 32 【形式】角柱型 【材質】花崗岩 【備考】 東橋集落に通じる南北道と川原から同集落を結ぶ旧道の交差する南西角にある。No.32と同所である。道標の文字下に左方向を示す手形がある。明日香村内でいちばん高い道標である。 33 橋 角柱型		(東) 日本書院最期地 聖徳皇太子御誕生所 築頭山上宮皇院 橋寺	【番号】34 【大字】橋 【規模】75 × 38 × 32 【形式】地藏型 【材質】花崗岩 【備考】 橋寺東門の階段下北側にある。 34 橋 地藏型		(北) 地主 高市村 (東) 右 ざい志やう 道 (西) 左 おかでら 道 地主
--	--	---	--	--	---



橋の道標

【番号】35 【大字】橋 【規模】229 × 33 × 24 【形式】角柱型 【材質】花崗岩 【備考】 橋寺西門から北へ通じる道と県道多武峰見道線が交差する南西角にある。明日香村内で2番目に高い道標である。 35 橋 角柱型		(西) 電話十八番寄附 大 親友會 (東) 聖徳皇太子御誕生所 別格 橋寺	【番号】36 【大字】橋 【規模】201 × 36 × 22 【形式】角柱型 【材質】花崗岩 【備考】 龜石から同集落へ通じる高野街道の南端で、橋寺西門の北にある。安永5(1776)年に建立されたもので、明日香村内の有年で4番目に古い道標である。明日香村内で5番目に高い道標である。 36 橋 角柱型 安永5年(1776)		(西) 日本書院最期地 聖徳皇太子御誕生所 築頭山上宮皇院 橋寺 (北) 聖徳皇太子御誕生所 聖徳皇太子御誕生所 (東) 安永5年申大
--	--	---	--	--	---

橋の道標



奈良県で2番目に古い道標（川原寺）

1番目に古い道標は、榛原



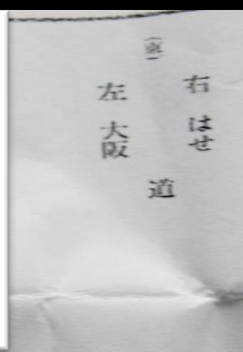
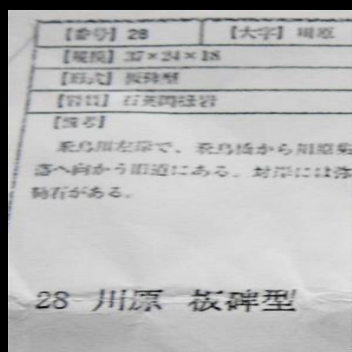
ナツメ



コボウズオトギリ



通り抜け困難な道へ！



川原の道標（埋もれています）



無事に困難な道を脱出？



弥勒石（望遠撮影）



豊浦休憩所へゴール、解散